

顕彰**誇りと愛着**

- ・芭蕉翁の業績を讃え、後世に継承する
- ・芭蕉翁を通じて、市民一人ひとりの郷土愛を育む
- ・芭蕉翁を通じて、心の豊かさや精神的なゆとりの尊さを伝える
- ・次代を担う子どもたちが芭蕉翁への興味や関心をもち、芭蕉翁が築いた文化が継承される仕掛けづくりを行う

- ・地域住民が誇りを持って観光客にも魅力を伝える場とする。

交流**連携・協働、共に育つ****◎地域や教育等との連携**

- ・伊賀市にとどまらず、全国の芭蕉翁関連施設や俳諧、俳句関連施設との連携を図る
- ・市民に親しまれ、地域に根差した記念館をめざす
- ・国内外を対象とした俳句大会、講演会、研修会などが開催できる機能を備えている

- ・若手アーティストや学生の作品展示やワークショップを通じて、次世代の才能を育てるプラットフォームを提供する
- ・地域のアートセンター的な機能を設け、地域住民にアートを身近に感じてもらう場を提供する。
- ・地元のアーティストやクリエイターと協力し、展示物やアートプロジェクトを共同で制作する機会を提供する。また、世界のアーティストを対象としたアーティストインレジデンスを展開する。
- ・新たなアート作品の制作や展示を通じて、地域のアートシーンを発展させる

◎参加と学び・創造の拠点

- ・俳諧俳句関連の文化活動など多様な活動を積極的に展開し、新たな文化の創造をめざす
- ・子どもたちの好奇心を喚起させるとともに、学習の場をサポートし、文化にふれる機会や場づくりを図る
- ・子どもから高齢者まで、市民が主体となり、芭蕉翁ならびに俳諧、俳句への興味や学びあいの楽しさを感じる活動の場づくりを行う
- ・市民はもとより、国内外を問わず、訪れるすべての年齢層の人々に開かれた記念館とする

- ・地域住民が展示やプログラムに参加することで、地域との共感を高めるコミュニティスペースを提供する。市民の参加と共感を大切に、地域の文化や伝統を未来に継承する
- ・周辺の学校や文化施設と協力して、定期的なワークショップや講座を提供するハブとなる場とする。アート制作、ワークショップ、歴史探求プログラムを実施し、また、観光誘客プログラムを展開し、地域経済への貢献を促進する。地域の成長と貢献の場であり、未来への投資として位置づける
- ・学校との連携を強化して、教育プログラムを拡充し、訪れる子供たちや学生に対してアート、歴史についての学習機会を提供し、創造力を養う場として活用する

◎体験性と柔軟性

- ・魅力ある展示や体感的な空間を通して、芭蕉翁への理解を深めることや、俳句人口の拡大を図る

- ・芭蕉翁や伊賀市の特徴に関する展示を、創造的なアプローチで表現する
- ・実物の歴史に触れることができる体験性と展示方法の柔軟性を兼ね備える
- ・展示は挑戦的で実験的であり、観客に対して思考の余地を与え、新たな視点を提供する。新しい斬新なアイデアを盛り込んだものを作り将来に向けた新しい顔とする。

◎未来の子どもたちへ

- 交流を通して新たな文化の創造や次代を担う子どもの育成、生涯学習の一翼を担う

- 若い世代向けに、AR や VR を活用したインタラクティブな展示を用意し、テクノロジーを融合させる。例えば、芭蕉翁の展示では、彼の旅日記や俳句をデジタルで復元し、訪問者がその文学的遺産を探求できるようにする

- 伊賀の文化の大事なことを、子どもや多くの人にもっと知ってもらおう
- 子供たちと地域の未来を大切に作る姿勢が重要
- 子育て世代向けに子ども向けの展示やプログラムを用意し、子ども連れでも楽しめる空間を提供する

発信 ⇒ 発信

◎情報発信の拠点

- 芭蕉翁、俳諧、俳句を世界へ発信する
- 芭蕉翁が生まれ育った地にふさわしい記念館として、伊賀市独自の歴史文化などを広く国内外へ情報発信する拠点をめざす
- 市内に点在する芭蕉翁ゆかりの史跡や伊賀市の風土、魅力を伝え、まち全体への回遊を促す記念館をめざす
- 芭蕉翁に関する情報発信の拠点施設として、その役割を担うため、最新の設備と体制の充実を図る

- 観光誘客プログラムを活用し、地域経済へのインパクトを最大化する。
- アーカイブス情報室やデジタルネットワークの機能を設ける

研究 ⇒ 調査・研究

◎俳文学の拠点・伊賀の歴史の拠点

- 芭蕉翁に関する研究ならびに俳文学研究において、全国の中心的な存在となる記念館をめざす
- 芭蕉翁ならびに俳諧俳句に関する資料を収集、保管するとともに、資料の公開や閲覧、研究の発表を積極的に行う
- 資料などの長期的な収集方針を立て、芭蕉翁ならびに俳諧俳句関連施設の中心的な施設としてふさわしい機能と体制を整える
- 伊賀市と（財）芭蕉翁顕彰会が芭蕉翁記念館に所蔵する貴重な資料や、連携施設、団体個人から寄贈寄託などを受けた資料を、適正な環境と体制のもとに保管し継承する

- 展示は、伊賀の歴史と文化に焦点を当てる。具体的には、歴史や技術、伊賀焼の陶磁器、芭蕉翁の文学と歴史など、地域に根付いたテーマに関連する展示を充実させる。触れて楽しむことができる展示物やインタラクティブな展示など、楽しめる要素を提供する。
- 地域全体の歴史的拠点を作り、各地域の特徴を示す拠点を設ける
- 伊賀の歴史や文化に焦点を当て、デジタル要素を融合させ、未来との対話を生む

